



# 「心ぽかぽかありがとう大作戦」進行中

12月10日（水）に行われた全校朝会で、校長から、冬休みまでの2週間、学校全体で「心ぽかぽかありがとう大作戦」にチャレンジしようと呼びかけました。

この取り組みは、学校でもおうちでも、一人でも多くの人に、一回でも多くの、気持ちのこもった「ありがとう」を伝えようというものです。「ありがとう」という言葉は、言われた人はうれしくなるし、言った人の心もなんだかぽかぽかしてくる魔法の言葉だと思っています。しかし、いざ相手に伝えようとする、照れくさく感じる人もいるでしょう。それでも、今回の取り組みを通して、一歩踏み出して勇気を出して言ってみよう伝えました。

子どもたちも教職員も含め、学校全体で「認め合い、励まし合う」雰囲気づくりにチャレンジすることで、外は寒くても、みんなの心がぽかぽかになることを期待しています。お互いの心がぽかぽかする「ありがとう」があふれれば、よりやさしい、よりあたたかい、より笑顔あふれる不動小学校になっていくと信じています。

話の中では、「言葉の遣い方」として、「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」、「ちくちくからふわふわへの言い換え」についても話しました。

「ちくちく言葉」の怖さ等についても、次のように話しました。

ところで、みなさん、なぜ、「ちくちく言葉」がなくならないのでしょうか。どうして、周りの人が嫌だと言う言葉をしてしまうのか、どうして友だちの心を傷付けたり、いらいらした気持ちにさせたりしてしまうのか、どうしてマイナスの言葉を遣ってしまうのか、と考えたことがありますか。

答えは簡単です。「ちくちく言葉」のある環境の中で暮らしているとそうになってしまうからです。みなさんの中には気付いている人もいるかもしれませんが、言葉とは、風邪とかインフルエンザのように他人にうつってしまうものなのです。ゲームをしたり、動画を見たり、「ちくちく言葉」を遣う友だちと話したりしているうちに、知らず知らずのうちに、「ちくちく言葉」が、うつってしまっているんです。

だから、言葉ってとても怖いものです。しかも、もっと怖いのは、「ちくちく言葉」を遣い続けていると、自分自身の心まで、ちくちくしたいじわるな性格に変えてしまい、顔つきや表情まで変えてしまう恐ろしい力があるということです。

言葉が人にうつるものならば、うれしい言葉をたくさん広めれば、その人の周りには、きっとうれしい気持ちを言える人たちでいっぱいになるのではないのでしょうか。やがてクラス中が、そして学校中が「ふわふわ言葉」であふれるようになるはずですよ。

一人ひとりの力を集めて、みんなで一緒に笑顔あふれる不動小をめざしていきます!!

# 私の街に「こんなトラックあったらいいな」絵画コンクール

最優秀賞 受賞

6 年

藤原 啓慈 さん

【作品名】

「思い出を運ぶトラック」

【本人のコメント】

僕は、八戸の祖父の家の近くにある海が大好きです。

僕の家がある矢巾町でも友達と一緒に海で遊びたいと思い、八戸から海を運んでくれるトラックがあったらいいなと思ってかきました。

【審査員のコメント】

トラックの荷台から夏の思い出があふれ出す作品です。全体の構図がしっかりと取れており、荷台から広がる海と砂浜がドラマチックに映し出されています。細部まで丁寧に描写されていて、私たち自身も作品の中に入り込んだように感じました。本当にあったらいいな、と思わせてくれるトラックでした。



出典  
「公益社団法人  
岩手県トラック協会」  
ホームページ



の行事予定

丸数字は、学年を表しています。

日	月	火	水	木	金	土
				1 元日	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 成人の日	13	14	15	16 始業式 12:10 下校	17
18	19	20	21	22 ⑤ 思春期 保健教室	23	24
25	26	27 委員会活動	28 児童朝会 (任命式) 代表委員会	29	30 お話マロン (高) ⑥ 薬物乱用 防止教室	31